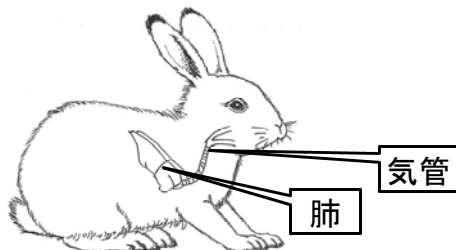


動物の肺のしくみ

さて、人以外の動物はどのように呼吸をしているのでしょうか？
ウサギは、人と同じように肺で呼吸をします。

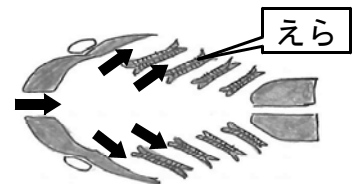
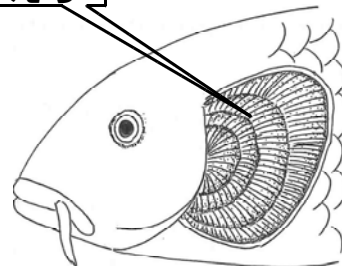
一方、魚はえらで呼吸をします。えらには血管が通っていて、水中の酸素を取り入れ、二酸化炭素を水中に出しています。

ウサギの肺



えら

魚のえらのしくみ



上から見た魚のえらの様子

人やウサギ、魚の呼吸では、「肺」と「えら」のちがいはありますが、どちらも血管が通っていて、血液の中に酸素を取り入れ、血液から二酸化炭素をだすしくみは同じです。

- ★ 魚類・・・えらで呼吸をし、水に溶けている酸素をえらで取り入れる（水中生活）。
- ★ 両生類・・・肺で呼吸をするが、十分でないため、皮ふでも呼吸をしている（陸上生活）。幼生の時代（オタマジャクなど）の間はえら呼吸をしている（水中生活）。
- ★ は虫類／鳥類・・・肺で呼吸をする。ほ乳類とほとんど変わらないしくみの肺を持つ（陸上生活）。
- ★ ほ乳類・・・肺で呼吸をする。たくさんの肺胞からできている肺を持っている。



(文責：玉村かおり)